

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	医療人間学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎901
担 当 教 員	小松 裕司	実務経験とその関連資格	患者心理や放射線被ばく相談の講演、指導実績 診療放射線技師(1998年)、産業カウンセラー 武蔵野大学人間科学部人間科学科心理学専攻卒業 学士(人間学) 現在、JART放射線被ばく相談員分科会長、日本放射線カウンセリング学会会長			
《授業科目における学習内容》						
医療従事者は所持している資格に関する専門知識の向上のみならず、患者の心理状態を理解するための知識を学び、全人的な医療を実践することが望まれる。将来、診療放射線技師として従事する上で、患者と円滑なコミュニケーションを図るための知識や技能を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
使用教材 授業で使用するPPT 参考図書 坪井康次『看護のための医学講座(医療人間学)』中山書店 2002年 柏田陽子『放射線カウンセリングステップワゴン』日本放射線技師会出版会 2005年 鯖戸善弘『グループ体験学習ワーク』金子書房 2016年						
《授業外における学習方法》						
傾聴など講義内容を日常の会話などのコミュニケーションに取り入れる。						
《履修に当たっての留意点》						
グループワークは積極的に参加してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療現場で必要なコミュニケーションを理解し、実践できる。	配布プリント		学習した内容を日常のコミュニケーションに取り入れる
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション概要 ・医療の人間関係におけるコミュニケーション ・非言語的コミュニケーション ・診療放射線技師の業務における倫理 			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	一方向、双方向のコミュニケーションを体験し、両者の違いを理解する。	配布プリント		学習した内容を日常のコミュニケーションに取り入れる
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・一方向のコミュニケーションのグループワーク ・双方向のコミュニケーションのグループワーク 			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者心理を理解し、患者個々人に合わせた柔軟性のある対応ができる。	配布プリント		学習した内容を日常のコミュニケーションに取り入れる
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・正常な心理的反応と異常反応 ・心の防御機制 ・ライフサイクルの特徴とその対応 			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な疾患に対して影響を及ぼす心理的要因を理解する。	配布プリント		学習した内容を日常のコミュニケーションに取り入れる
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な疾患に対する心理的要因について 			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	なぜ人々は放射線被ばくに不安を抱くのか、その要因と対応(放射線カウンセリング)について理解する。	配布プリント		学習した内容を日常のコミュニケーションに取り入れる
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線被ばく相談の歴史 ・放射線被ばくに対する心理的不安 ・放射線カウンセリング概要 			

